

よこてきた  
国道13号 横手北道路

資料3

計画段階評価

第1回 説明資料

目次

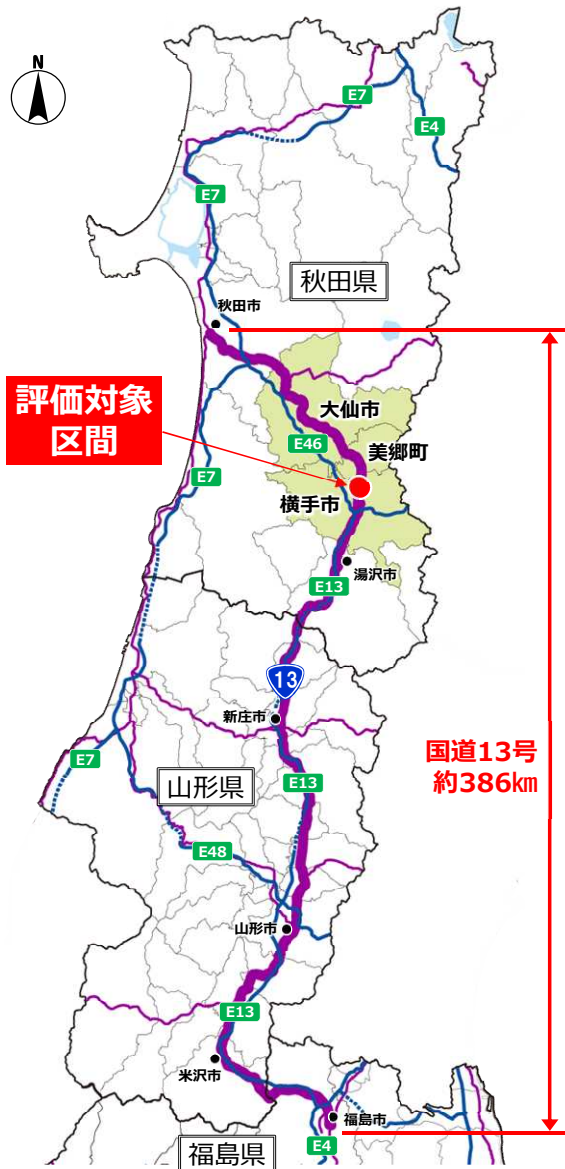
1. 評価対象区間について	・・・	1
2. 地域の概況	・・・	2
3. 道路の現状と課題	・・・	6
4. 地域の現状と課題	・・・	9
5. 政策目標（案）	・・・	15
6. 意見聴取方法（案）	・・・	18
7. 今後の計画段階評価のすすめ方（案）	・・・	23

令和2年 10月23日  
国土交通省 東北地方整備局

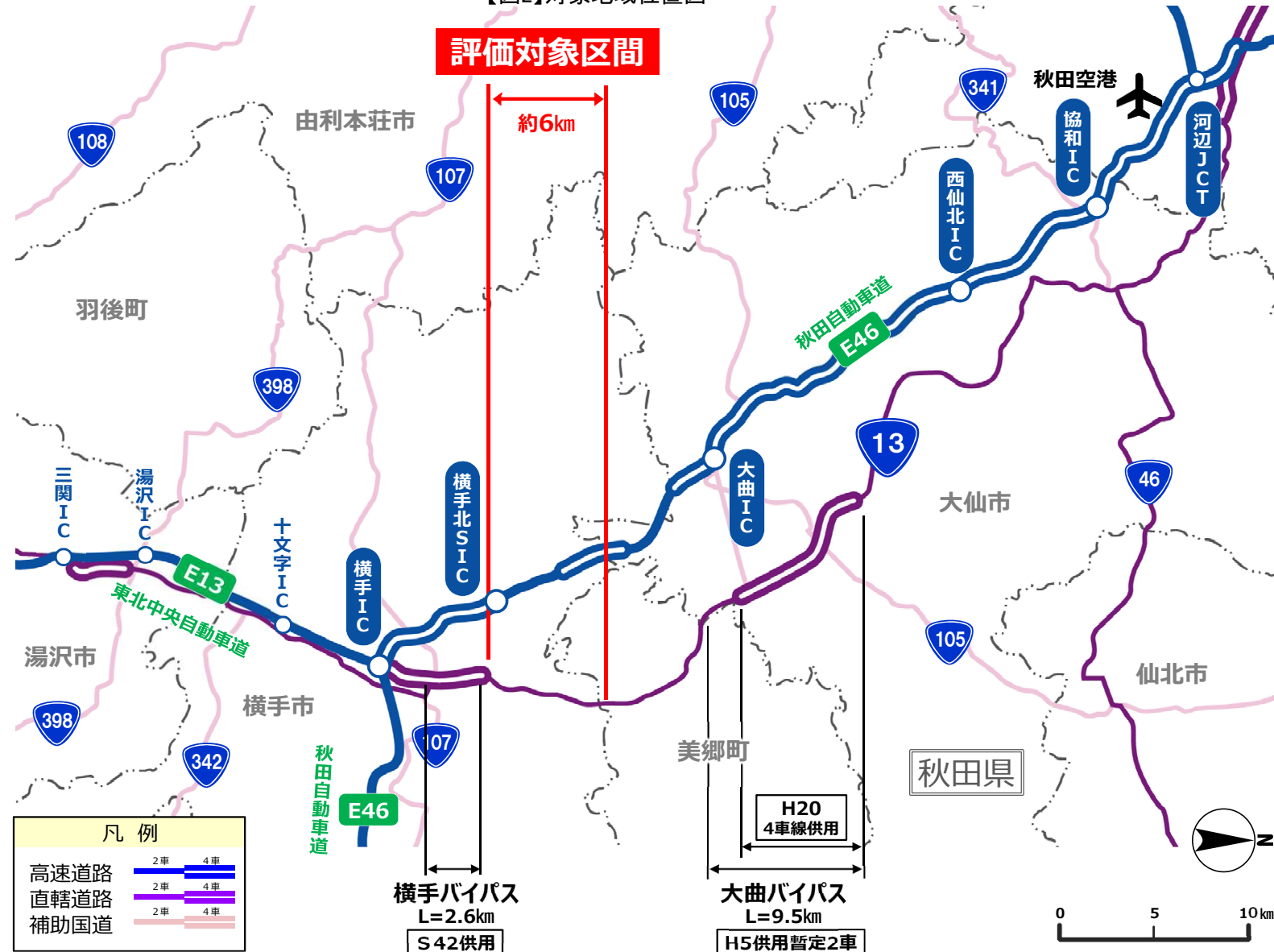
# 1. 評価対象区間について

- ◆ 国道13号は、福島県福島市を起点に山形県内主要都市、秋田県横手市等を経由し秋田市に至る延長約386kmの直轄国道。
- ◆ 評価対象区間(以下、「対象区間」)は、横手バイパスの終点部から美郷町境付近までの延長約6kmの2車線区間である。

【図1】広域図



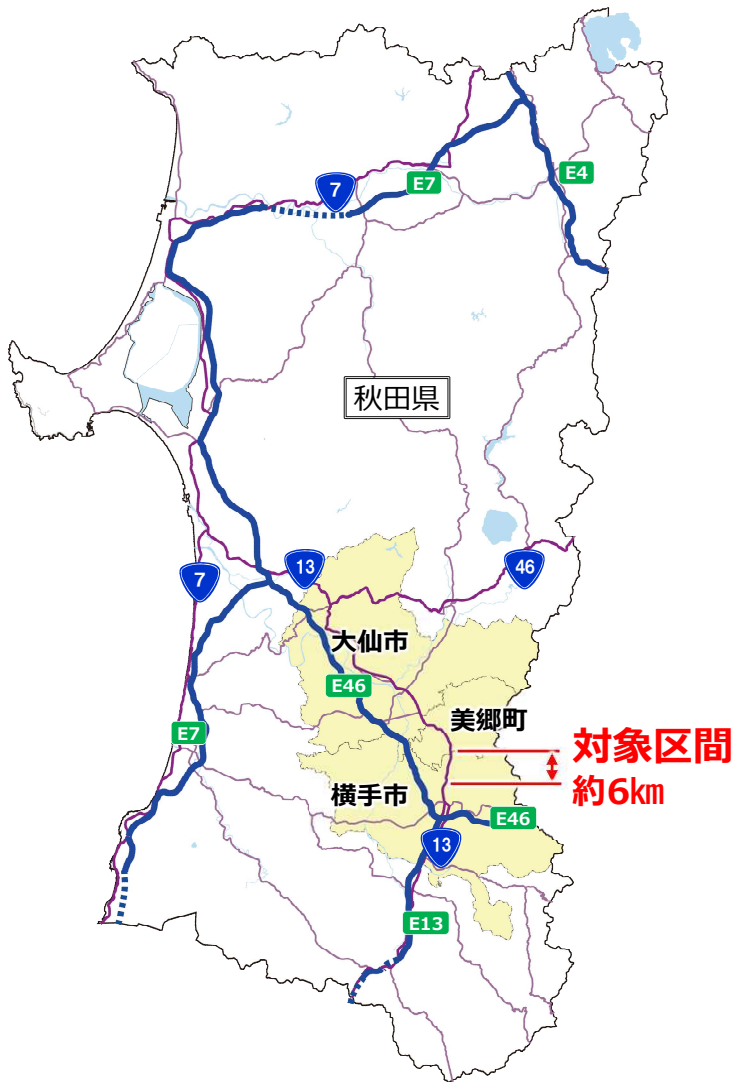
【図2】対象地域位置図



# 2. 地域の概況（人口）

- ◆ 対象区間は、横手市、美郷町、大仙市の2市1町で構成され、人口は約20万人。
- ◆ 対象地域の人口は、減少率が全国1位の秋田県よりも高く、人口減少が著しい。

【図1】対象地域の位置図



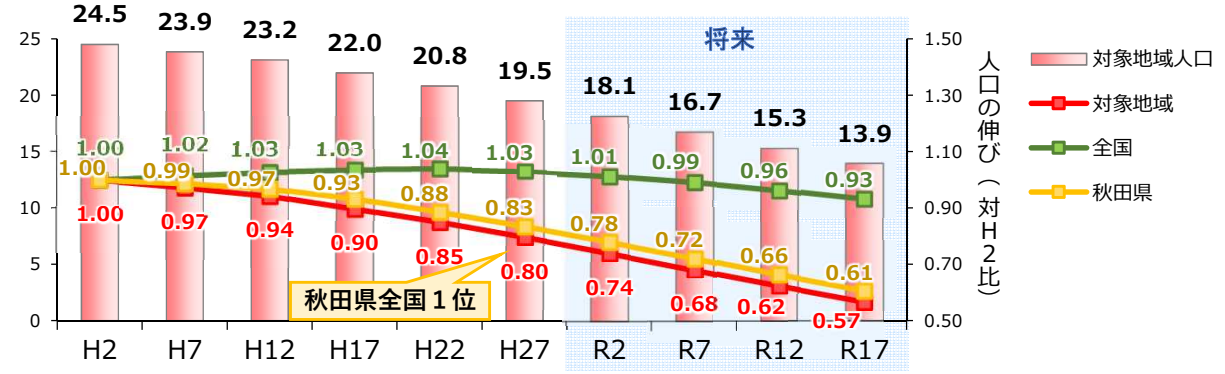
【表1】対象地域の人口

	秋田県	横手市	美郷町	大仙市	計
人口(人)	1,023,119	92,197 (2位)	20,279 (13位)	82,783 (3位)	195,259
世帯(世帯)	388,560	31,463	6,152	28,198	65,813
面積(km <sup>2</sup> )	11,637.54	692.8	168.3	866.8	1,727.9
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	87.9	133.1	120.5	95.5	113.0
高齢化率(%)	33.6	35.0	35.3	34.6	34.9

※ ( ) 内は秋田県25市町村中の順位を示す

資料：H27国勢調査

【図2】人口の推移

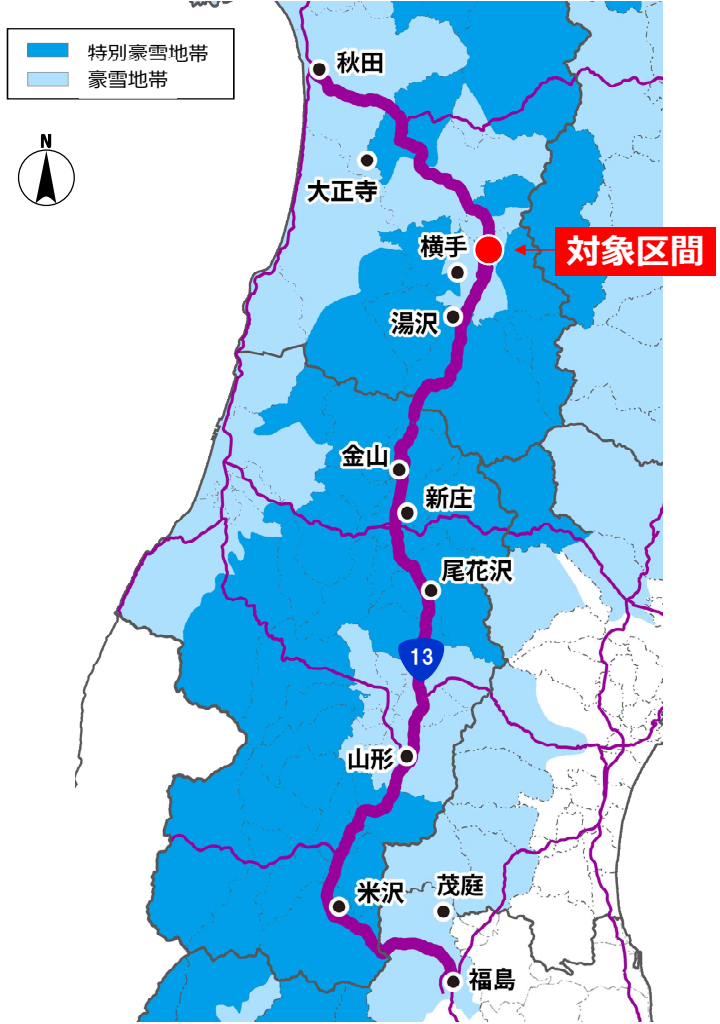


資料：H2～H27:国勢調査  
R2～:日本の地域別将来推計 人口(平成30年推計)

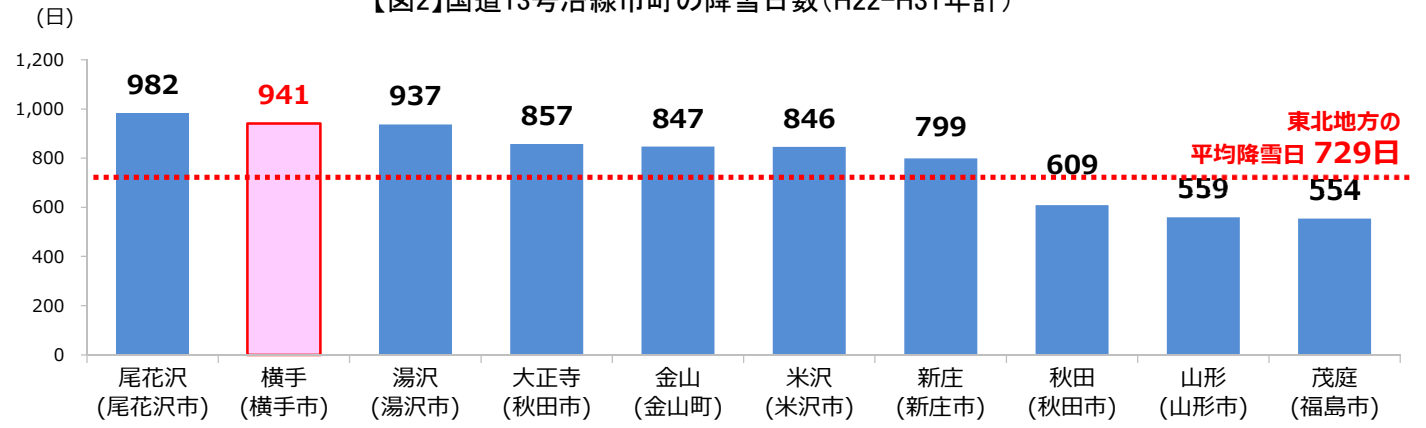
# 2. 地域の概況（気象条件）

- ◆ 国道13号沿線は豪雪地帯又は特別豪雪地帯に指定されている。
- ◆ 横手市は他市町より降雪日数が多く、年間平均降雪量は東北地方の平均降雪量と比べて約1.6倍と多い。

【図1】国道13号沿線降雪量観測地点

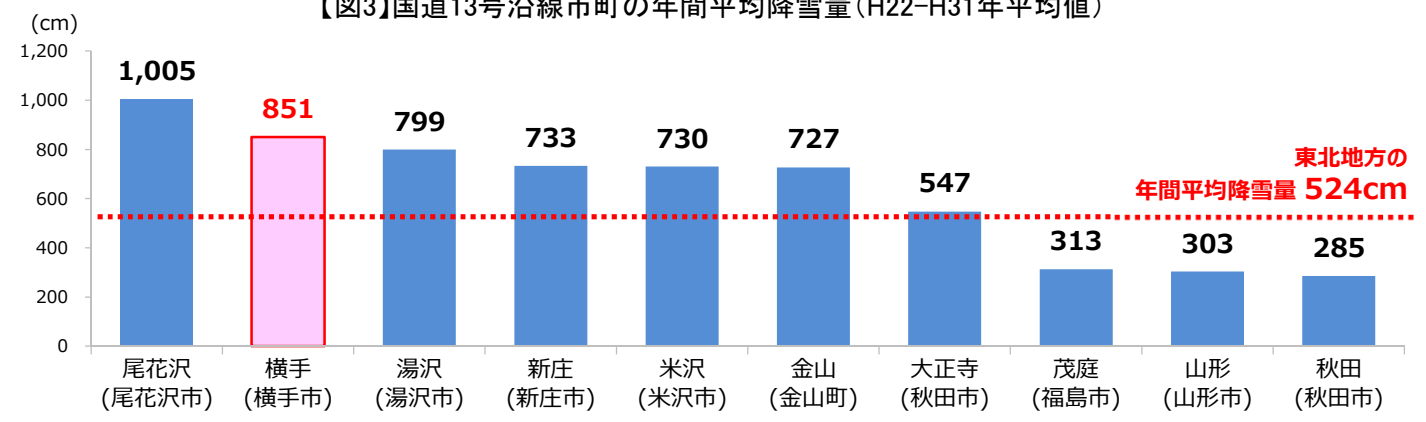


【図2】国道13号沿線市町の降雪日数(H22-H31年計)



資料：気象庁HP（H22-H31年計） ※国道13号沿線の観測地点で集計

【図3】国道13号沿線市町の年間平均降雪量(H22-H31年平均値)

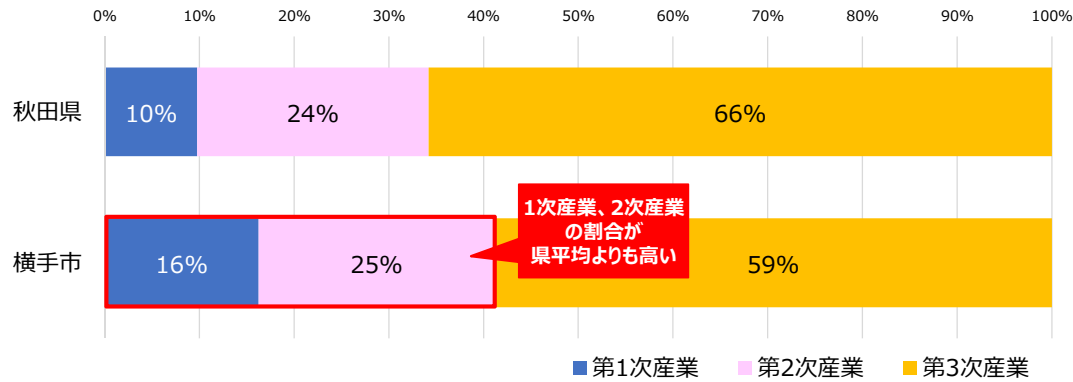


資料：気象庁HP（H22-H31年平均値） ※国道13号沿線の観測地点で集計

# 2. 地域の概況（産業）

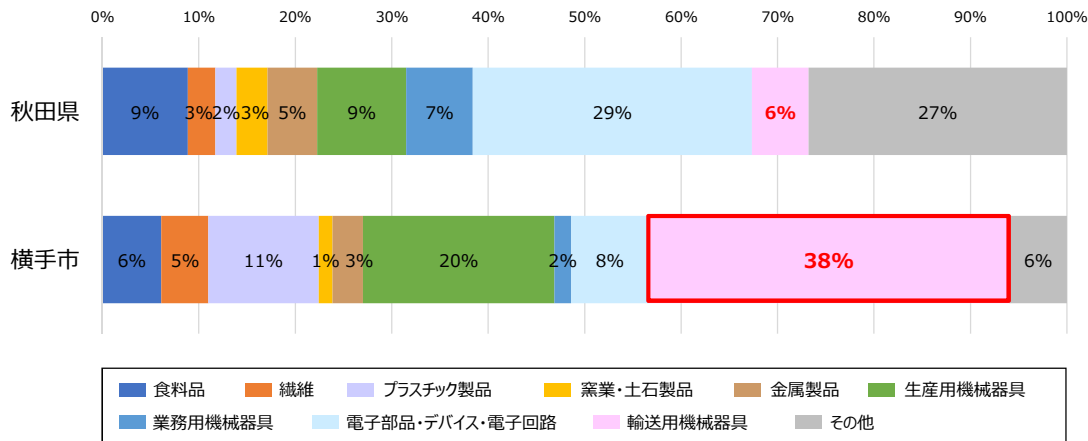
- ◆ 横手市の産業別人口構成比は、秋田県と比較して第1次産業、第2次産業に従事する割合が高い。
- ◆ 横手市の製造品出荷額は、輸送用機械器具製品の割合が最も高く、県内の約7割を占める。

【図1】対象地域の産業別就業人口構成比

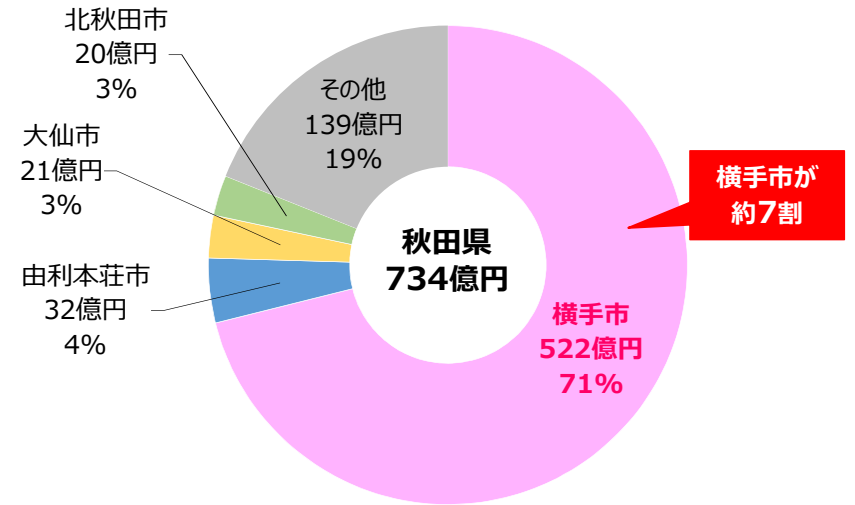


1次産業、2次産業の割合が県平均よりも高い

【図2】製造品出荷額の内訳



【図3】秋田県の輸送用機械器具製品の製造品出荷額の内訳(H30)



横手市が約7割

※輸送用機械器具製品：自動車、船舶、航空機、鉄道車両及びその他の輸送機械器具（自転車など）を示す

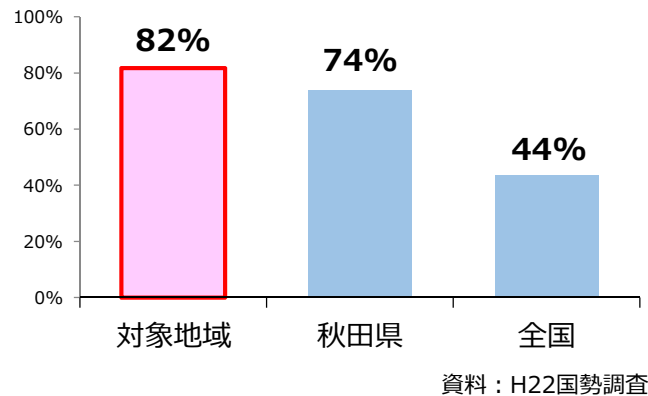
# 2. 地域の概況（人流・物流）

- ◆ 横手市発着の通勤・通学者数は大仙市や美郷町が多く、移動手段としては自家用車の割合が約8割と高い。
- ◆ 対象地域の自動車保有台数は1世帯当たり約1.6台と全国の約1.5倍であり、自動車への依存度が高い。
- ◆ 対象区間の通過車両は対象地域間の移動が全体の約6割と多く、大型車のトリップ長は75kmを越える広域的な流動が多い。

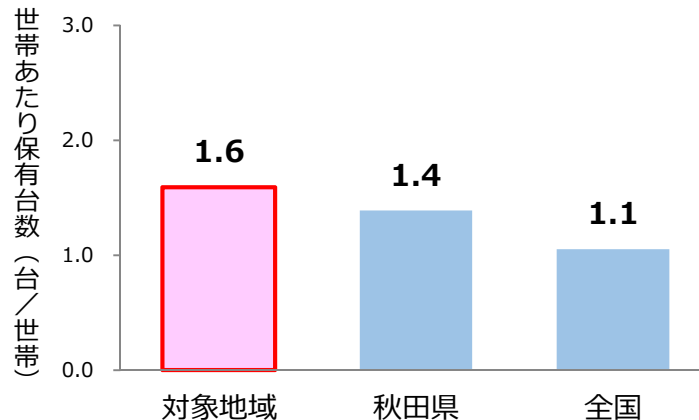
【図1】横手市発着の通勤・通学者数



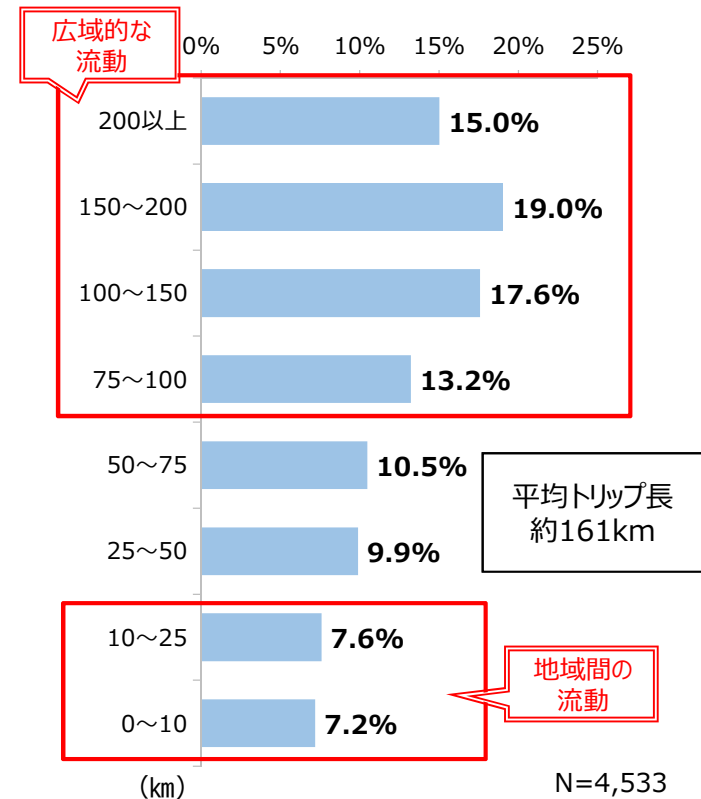
【図2】通勤通学手段「自家用車」の割合



【図3】1世帯当たり自家用乗用車保有台数



【図4】対象区間を利用する大型車の距離帯別トリップ率

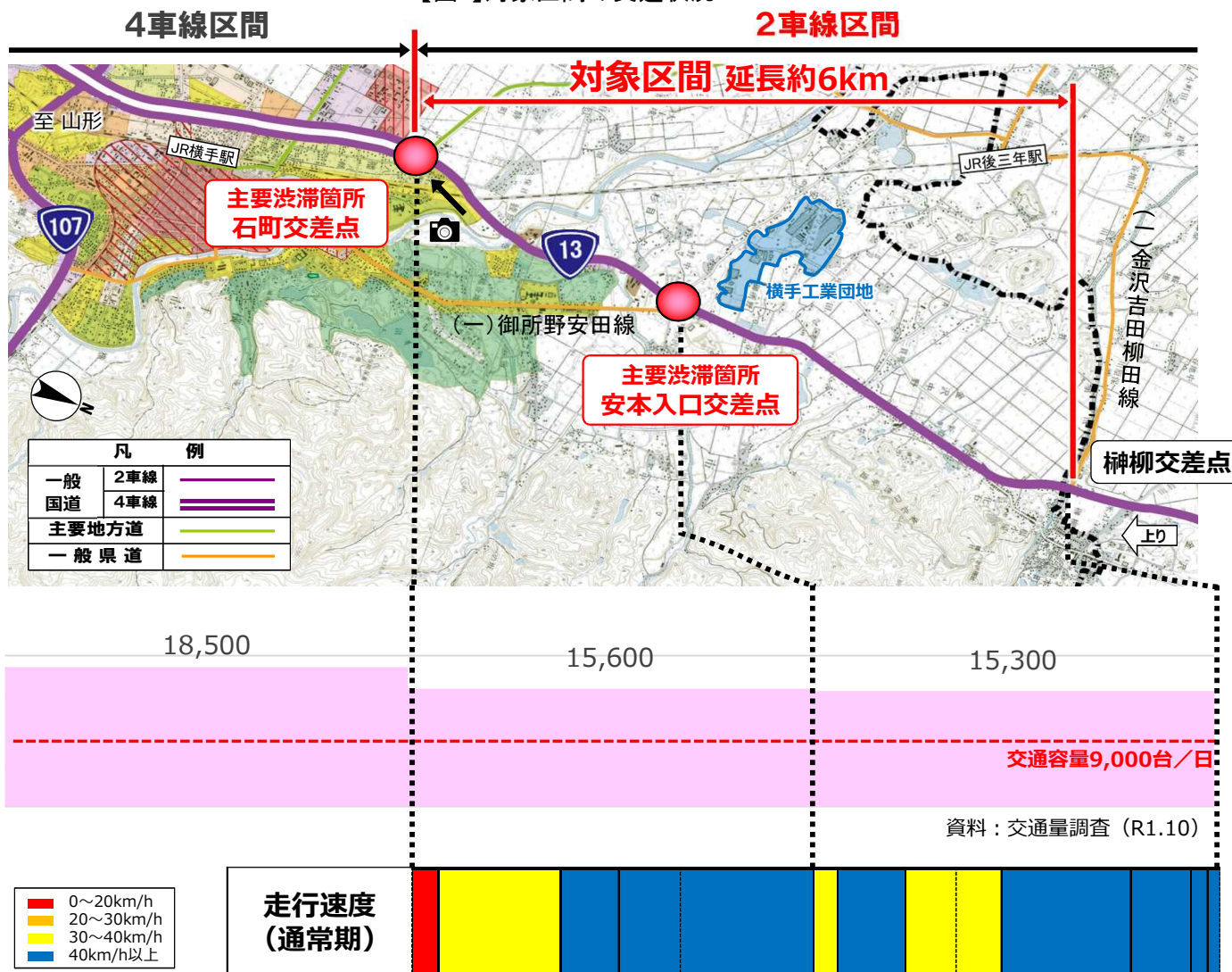


資料：ETC2.0データ (R1.9～11)  
※対象区間を一部でも通過した交通を対象に集計  
※広域的な流動：横手市～秋田市間等  
地域間の流動：横手市～大仙市間等

# 3. 道路の現状と課題 (交通現況)

- ◆対象区間の交通量は約15,000台/日で、2車線の交通容量(9,000台/日)を上回る。
- ◆対象区間内には主要渋滞箇所も存在し、主要渋滞箇所では朝ピーク時は渋滞により速度低下が発生している。
- ◆コロナ禍の交通状況は小型車は緊急事態宣言中で最大3割程度減少し、解除後は元の水準に回復傾向となっている。

【図1】対象区間の交通状況



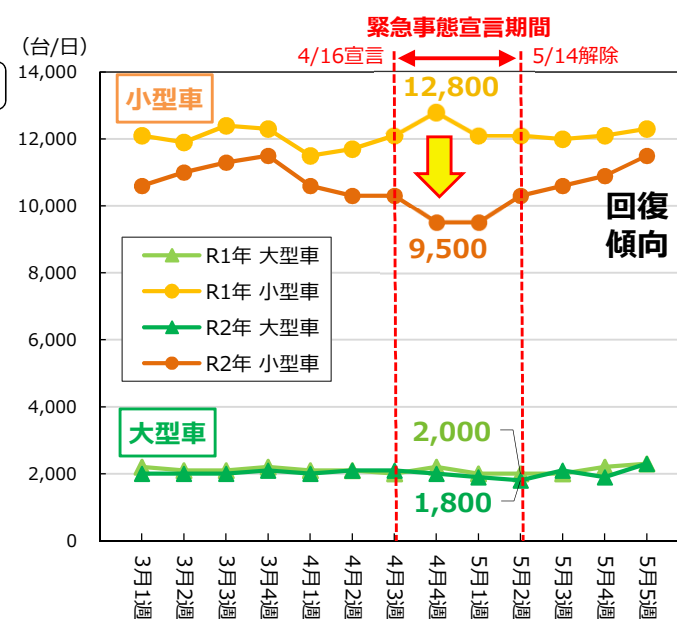
資料：交通量調査 (R1.10)

資料：ETC2.0データ (H30.9~11 平日 8時台、上り)

【写真1】石町交差点の混雑状況



【図2】コロナ禍における交通状況

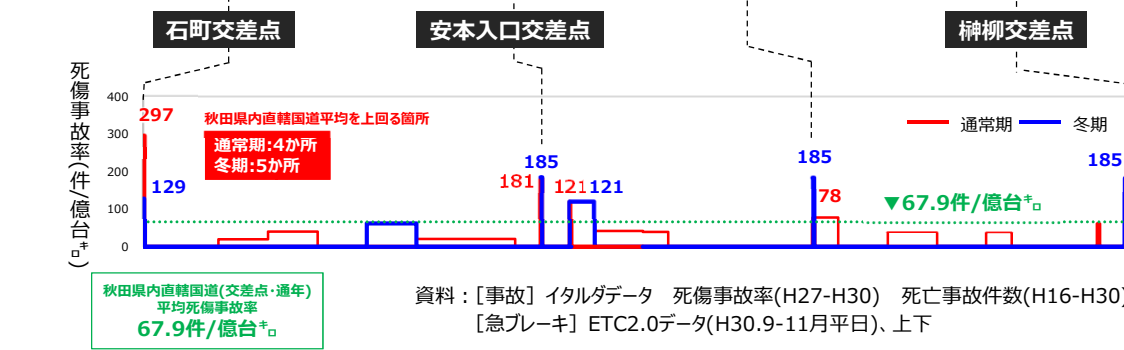


出典：常時観測データ：国道13号(金沢)、H31・R2年3~5月、週単位  
 ※平日・R1年5月は平日なしのため5月第2週のデータを使用

# 3. 道路の現状と課題 (安全性)

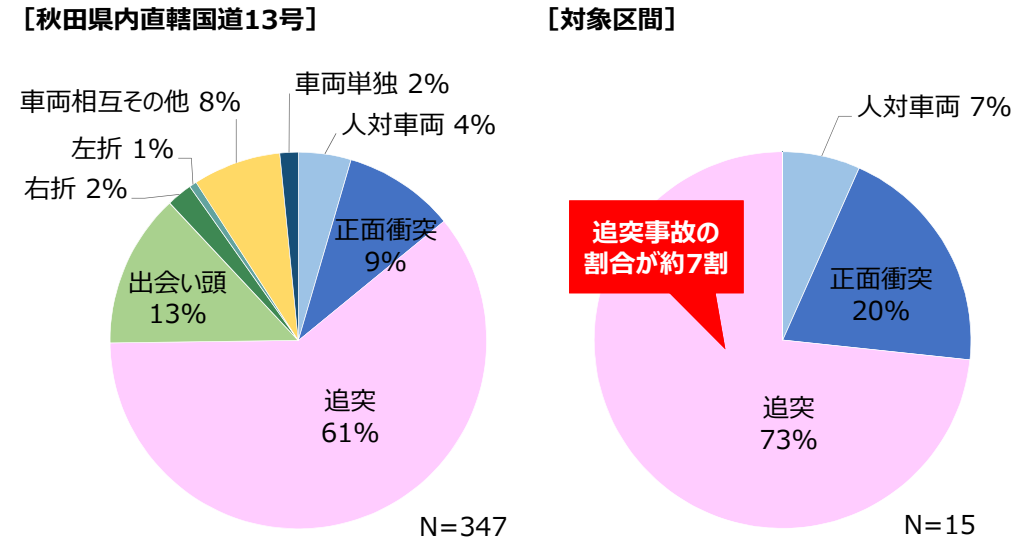
- ◆対象区間は交差点の事故が多く、死傷事故率は秋田県直轄国道平均を上回る箇所が通常期4か所、冬期は5か所存在する。
- ◆交差点のみならず、沿線企業の出入り部や人家連坦部でも急ブレーキが発生し、単路部での追突事故は約7割と高い。
- ◆対象区間の交差点部・単路部の両方で事故が発生しており、安全性確保が課題となっている。

【図1】国道13号の死傷事故率と発生箇所



資料：[事故] イタルデータ 死傷事故率(H27-H30) 死亡事故件数(H16-H30) [急ブレーキ] ETC2.0データ(H30.9-11月平日)、上下

【図2】単路部の事故類型



資料：イタルデータ(H27-H30)



・冬期の積雪で見通しが非常に悪く、また人家連坦部は道路幅員が狭いため、走行が怖いと感じることがある。  
資料:自治会長ヒアリング結果 (R1.10)

・冬期間は堆雪により見通しが悪いため、運転ドライバーは出入口からの車両や除雪する人にかかなり気をつけている。

資料:自動車関連企業ヒアリング結果 (R1.11)





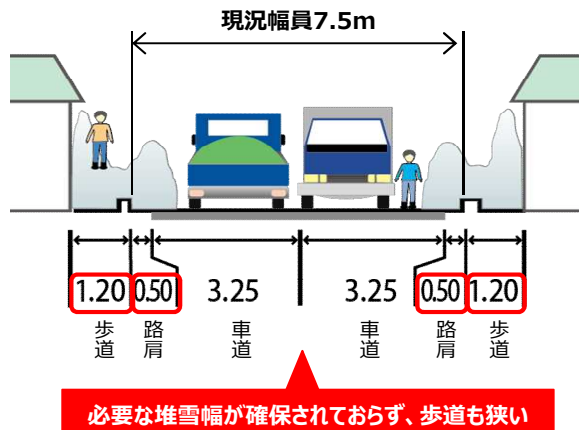
# 3. 道路の現状と課題 (交通環境)

- ◆ 対象区間の路肩幅員は、全体の約5割が狭小区間であり、冬期には堆雪によりさらに減少する。
- ◆ 堆雪による速度低下によって冬期は走行速度にばらつきが生じるほか、人家連坦部は堆雪箇所を確保するため、運搬排雪作業を行う必要がある。
- ◆ 運搬排雪作業時は片側交互通行規制となり渋滞が発生する等、定時性の確保が課題となっている。

【図1】対象区間の路肩幅員、速度低下の状況



【図2】冬期幅員の状況



【写真1】運搬排雪作業状況



路肩幅員	西側		東側	
	0.75m以上 (Blue)	約4割	約5割	約5割
0.75m未満 (Dark Blue)	約6割	約5割	約5割	約6割

資料：道路台帳

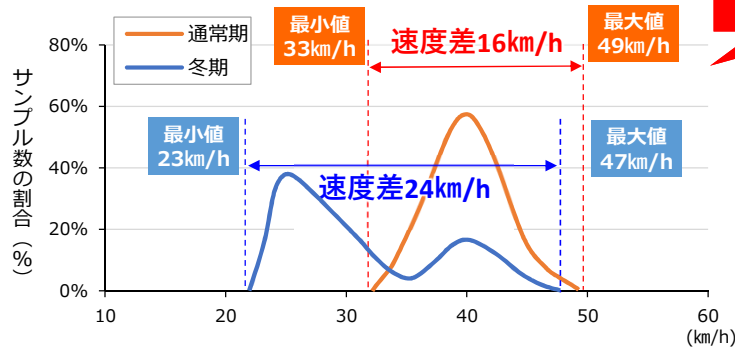
  

走行速度	① 通常期		② 冬期		③ 冬期 降雪10cm以上	
	0~20km/h (Red)	約1割	約1割	約1割	約1割	約1割
	20~30km/h (Yellow)	約2割	約2割	約2割	約2割	約2割
30~40km/h (Light Blue)	約3割	約3割	約3割	約3割	約3割	
40km/h以上 (Dark Blue)	約4割	約4割	約4割	約4割	約4割	

対象区間 (東側) の約5割が幅員狭小部

資料：ETC2.0データ  
 ① 通常期：H30.9~11 平日 8時台、上り  
 ② 冬期：H30.12~H31.2 平日 8時台、上り  
 ③ 冬期：H30.12~H31.2 平日 8時台、降雪10cm以上、上り

【図3】対象区間(上り)の速度分布比較



冬期の速度差は通常期の1.5倍とばらつきが大きい

- ・歩行者が車道にはみだして歩くため、車両の速度を落として走らざるを得ない。
- ・運搬排雪時は片側交互通行となり、30分以上遅れが発生することがあった。

資料：バス事業者ヒアリング結果(R2.6)

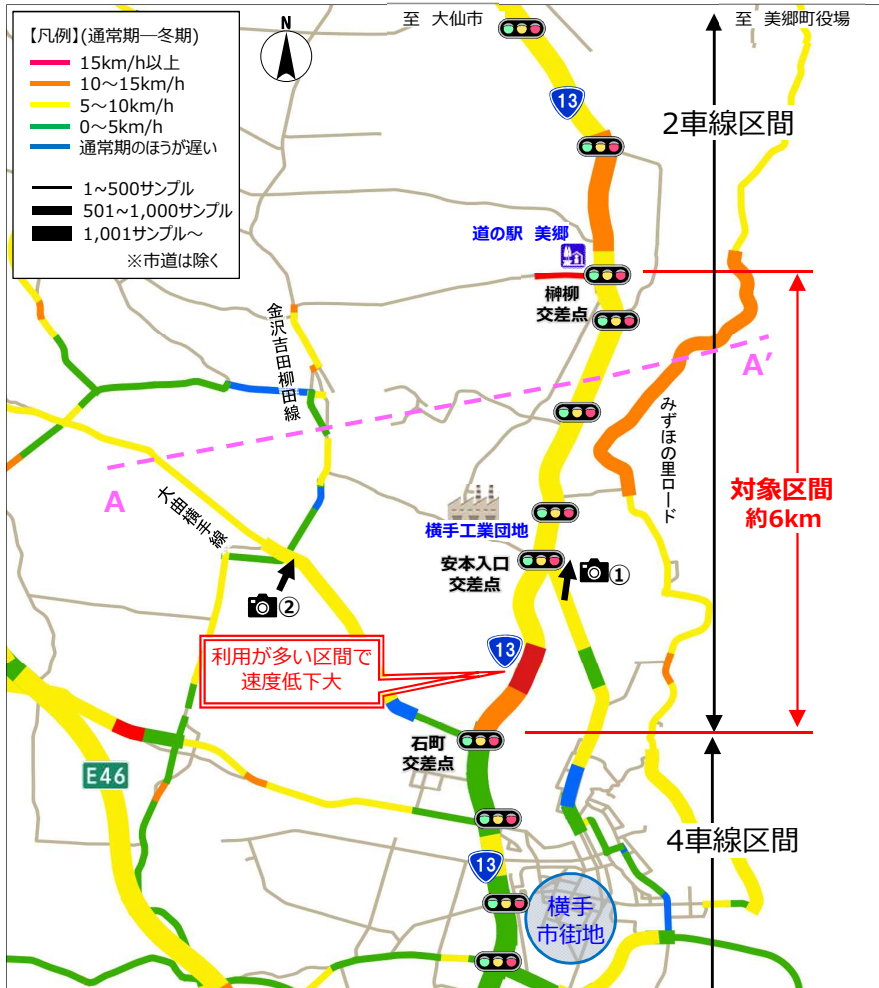
資料：ETC2.0データ  
 通常期：H30.9~11 平日 8時台  
 冬期：H30.12~H31.2 平日 8時台  
 降雪10cm以上の日



# 4. 地域の現状と課題（地域流動）

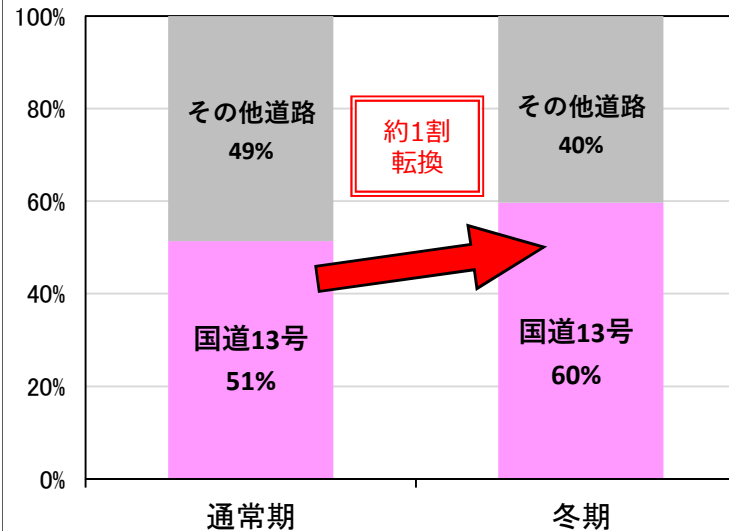
- ◆ 通勤通学時間帯は約5割が国道13号を利用しているが、冬期になると周辺道路からの転換で約6割にまで増加する。
- ◆ 横手市街地へは対象区間を利用した交通が多く、冬期の速度低下が周辺道路よりも顕著で通勤通学の負担となり、走行性、定時性の確保が課題となっている。

【図1】国道13号周辺道路の朝ピーク時の通常期と冬期の速度差



資料：ETC2.0データ 平日7~8時台  
 ※市街地方向へ向かう車両を対象 通常期 H30.9~11月 冬期：H30.12月~H31.2月

【図2】通勤通学時間帯の路線分担率（A-A'断面）



資料：「プロファイルバスポート位置情報データ」株式会社プログウォッチャー社  
 通常期：H30.4月の朝ピーク、冬期：H30.2月の朝ピーク  
 ※その他の道路・・・大曲横手線、金沢吉田柳田線、みずほの里ロード

【写真1】国道13号の交通環境(①)



【写真2】周辺道路の交通環境(②)



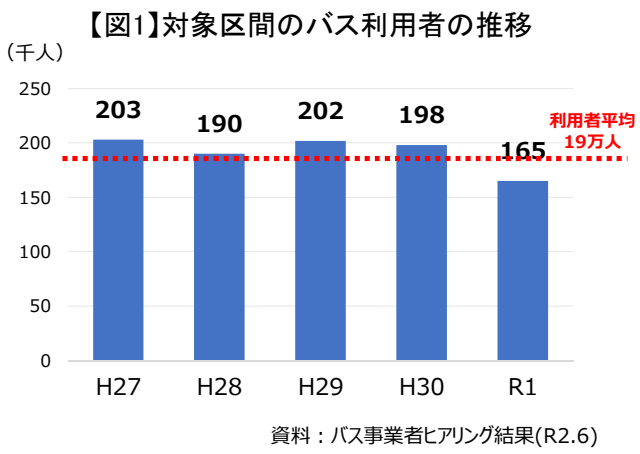
- ・出勤時、通勤時間が読めないため、通常よりも約30分早く家を出なければいけない。
- ・渋滞により通勤時間が読めないため、遅刻する従業員がいる。

資料：企業ヒアリング結果(R1.10)

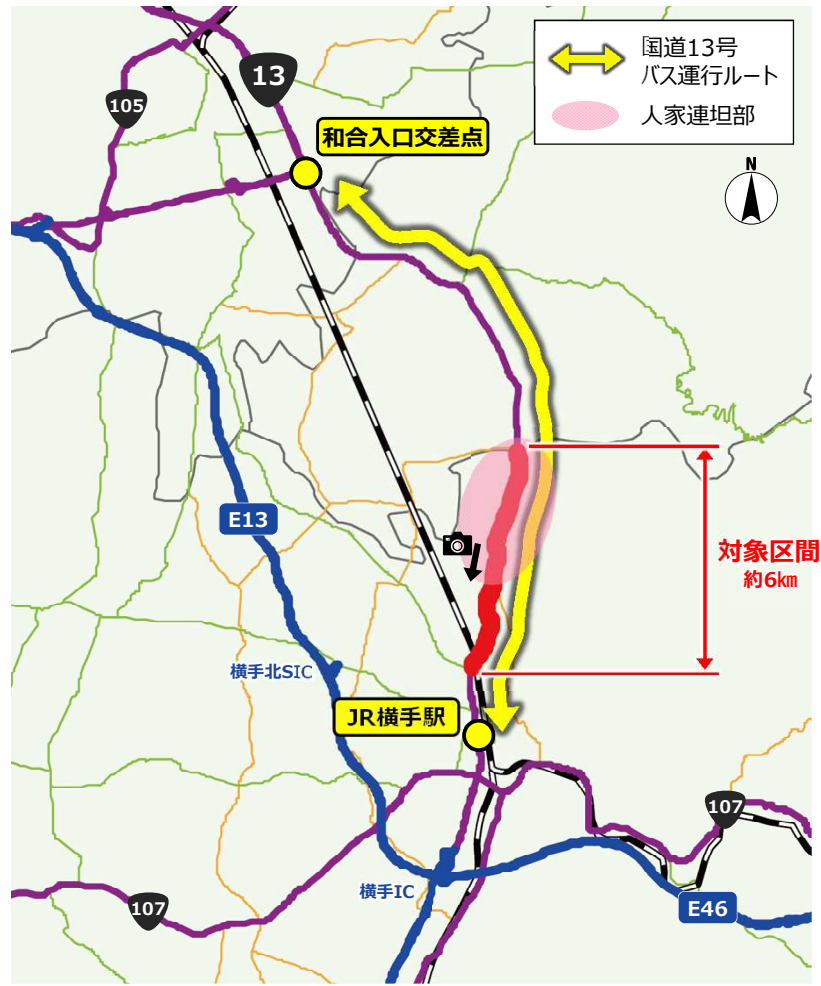


# 4. 地域の現状と課題（生活）

- ◆対象区間を通過するバスの利用者数は年間平均約19万人であり、冬期の月平均バス利用者数は通常期よりも約1.2倍に増加する。
- ◆人家連坦部では冬期の堆雪で車道が狭くなり大型車とすれ違う時は徐行せざるを得ないため、バス停到着までの時間がかかり、定時性の確保が課題となっている。



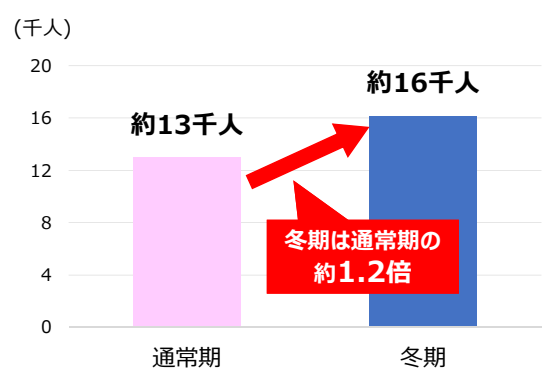
【図3】横手駅～和合入口交差点 路線バス運行ルート



【写真1】冬期のバスのすれ違い状況



【図2】通常期と冬期の月平均バス利用者数



資料：バス事業者ヒアリング結果(R2.6)  
 対象期間：H31.4～R2.3 [冬期] R1.12～R2.2 [通常期] その他の月

- 冬期は、渋滞により30～40分の遅れが発生しており、苦情が多い。
  - 特に人家連坦部は狭いため、バスの速度を落として走らざるを得ない。
- 資料：バス事業者ヒアリング結果(R2.6)



# 4. 地域の現状と課題（産業1）

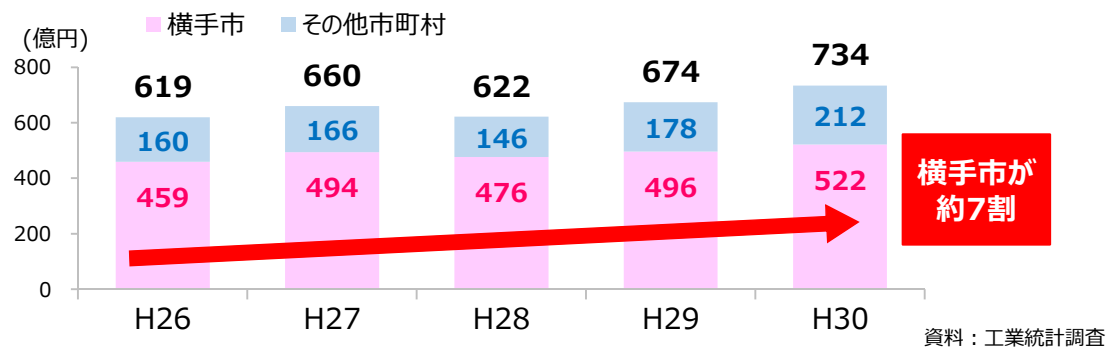
- ◆ 秋田県の輸送用機械器具製品の製造品出荷額は増加傾向にあり、そのうち約7割を占める横手市も増加傾向となっている。
- ◆ 対象地域では、原材料の鉄等の加工を行う工場等が立地しており、原料搬入、製品出荷時は対象区間が利用されている。
- ◆ 冬期は、渋滞や雪による影響で荷崩れが発生しやすくなり、製品の性能に問題が発生する等、企業活動の支障となっており、走行性、定時性の確保が課題となっている。

【図1】対象地域の自動車関連企業立地状況と製造工程の例



資料：東北の自動車関連マップ（H31.1） 自動車関連企業ヒアリング結果（R1.11）

【図2】秋田県内の輸送用機械器具製品の製造品出荷額の推移



【図3】荷崩れの発生イメージ



・対象区間では雪による渋滞で発進・停止が多くなり、荷崩れが何度か発生した。

・荷崩れは製品の性能に悪影響があり、製品を全数検査しなくてはならなくなるため、製品をパレット内に整理して固定する等の対策をせざるを得ない。

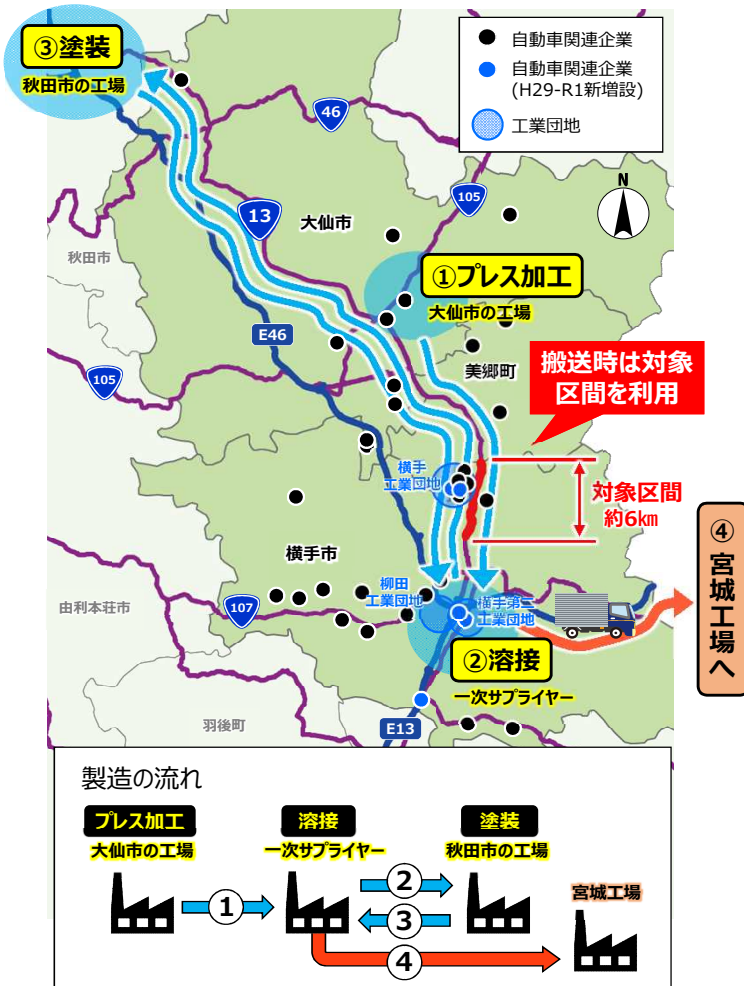
資料：自動車関連企業ヒアリング結果 (R1.11)



# 4. 地域の現状と課題（産業2）

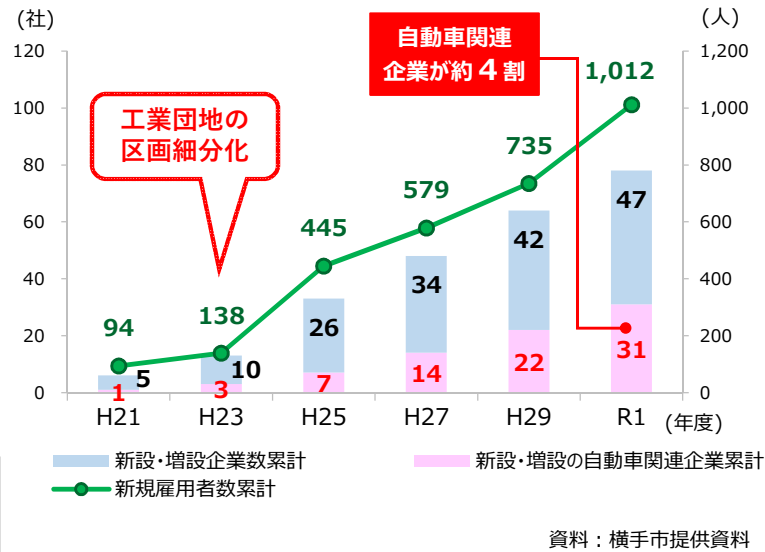
- ◆ 横手市における新設増設企業や新規雇用者数は増加傾向で、うち約4割は自動車関連企業となっている。H29年には大手自動車企業の一次サプライヤーが横手第二工業団地に進出している。
- ◆ H30年には大手自動車企業が岩手・宮城県に工場を自動車生産を集約させることを発表し、秋田県内の自動車関連企業では、連携して部品を完成させて納品する取り組みも始まっている。
- ◆ 企業間の自動車部品の輸送時に対象区間が利用されており、走行性・定時性の確保が課題となっている。

【図1】企業間連携による自動車部品の製造工程の例



資料：東北の自動車関連マップ（H31.1）  
自動車関連企業ヒアリング結果（R2.7）

【図2】横手市の新設増設企業と新規雇用者数の推移



■ 大手自動車企業の動向

・令和2年12月末までに東富士工場（静岡県）を閉鎖し、宮城大衡工場と岩手工場に生産を集約させると発表。

資料：大手自動車企業HP  
自動車関連企業ヒアリング結果（R2.7）

・現在は輸送時間が読めない状況だが、本区間が整備されることで時間が読めるようになり、整備効果は大きい。

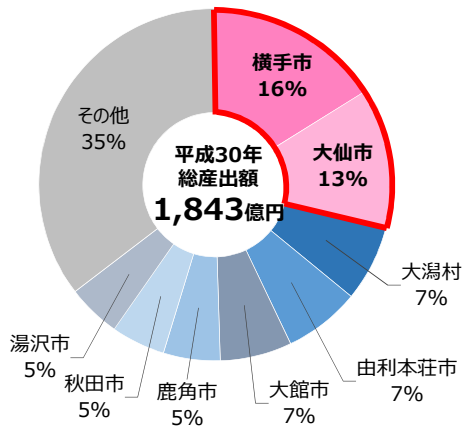
資料：自動車関連企業ヒアリング結果（R1.11）



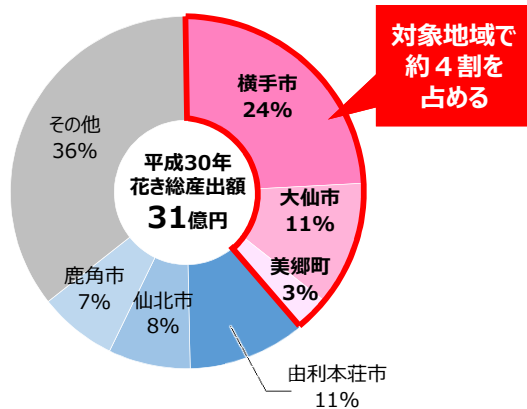
# 4. 地域の現状と課題（農業）

- ◆横手市の農業産出額は県内第1位、次いで大仙市も第2位と対象地域が上位を占める。
- ◆花き類は全国の出荷量が減少していくなか、秋田県ではH25年以降増加しており、対象地域における花きの産出額は県内の約4割を占める。
- ◆各地で集荷された花きは関東方面に出荷されるが、冬期は渋滞や雪による影響で集荷・出荷に遅延が生じ、市場に延着するような場合には商品価値が下がるリスクを抱えており、定時性・速達性の確保が課題となっている。

【図1】秋田県の農業産出額



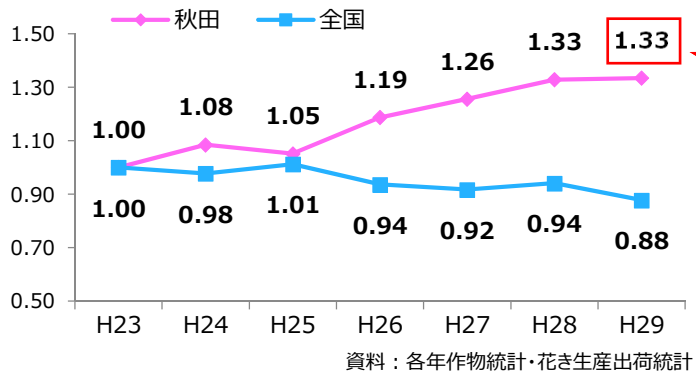
【図2】花きの産出額の秋田県内の割合



対象地域で約4割を占める

資料：平成30年市町村別農業産出額(推計)  
※農林業センサス結果等を活用した市町村別農業産出額の推計結果

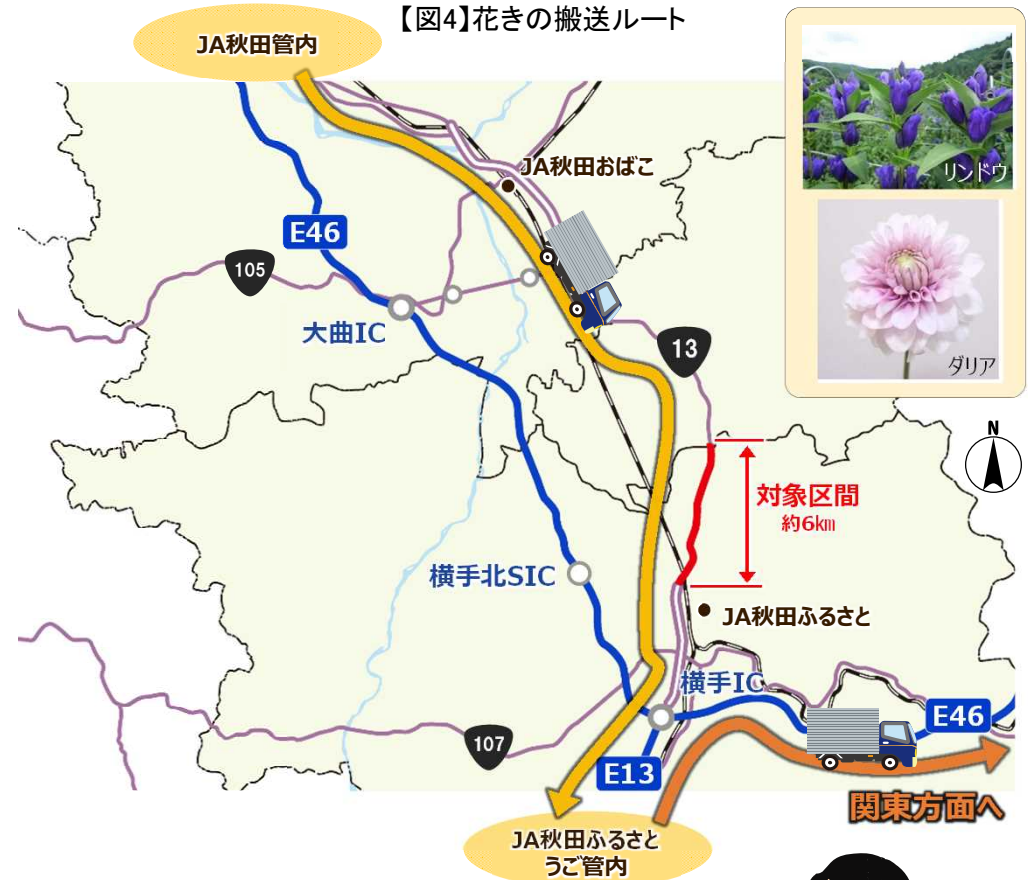
【図3】花きの出荷量の伸び率の推移



全国の伸び率に対し、秋田県は増加傾向

資料：各年作物統計・花き生産出荷統計

【図4】花きの搬送ルート



・冬期は道路の状態が悪いため移動時間が多くなり、今年は降雪の影響で1時間程度遅れが生じた。  
資料：JA秋田おばこヒアリング結果 (R2.6)

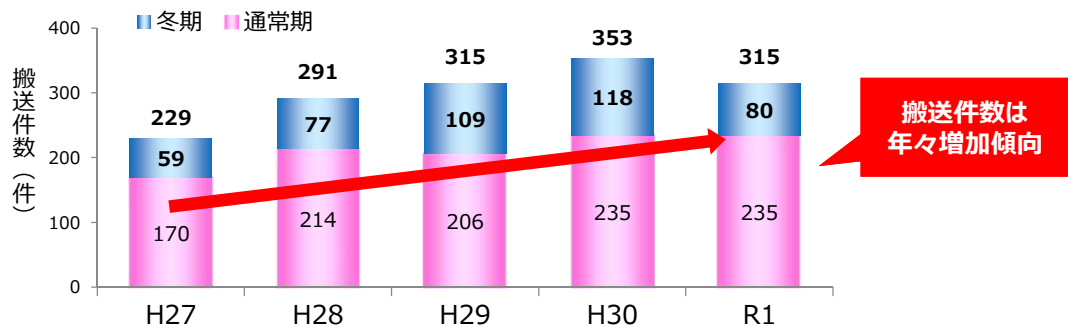


# 4. 地域の現状と課題（医療）

- ◆対象区間を利用した横手市内への救急搬送件数が増加傾向にあり、県南で唯一の三次医療相当※施設である平鹿総合病院への搬送は、約8割以上が対象区間を利用している。
- ◆交通混雑のほか、対象区間は幅員が狭く、特に冬期は堆雪の影響でさらに狭くなるため、救急車両の追い越しが困難で安定性・速達性が課題となっている。

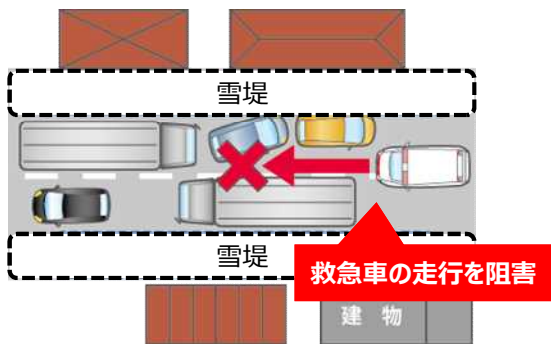
※三次医療相当：国から三次医療施設としての指定は受けていないものの、地域救急救命センターなど、三次医療に匹敵する施設・機能を有する病院

【図1】対象区間を利用した横手市内への救急搬送件数



資料：大曲仙北広域市町村圏組合消防本部・横手市消防本部ヒアリング結果

【図2】冬期の救急搬送状況(イメージ)



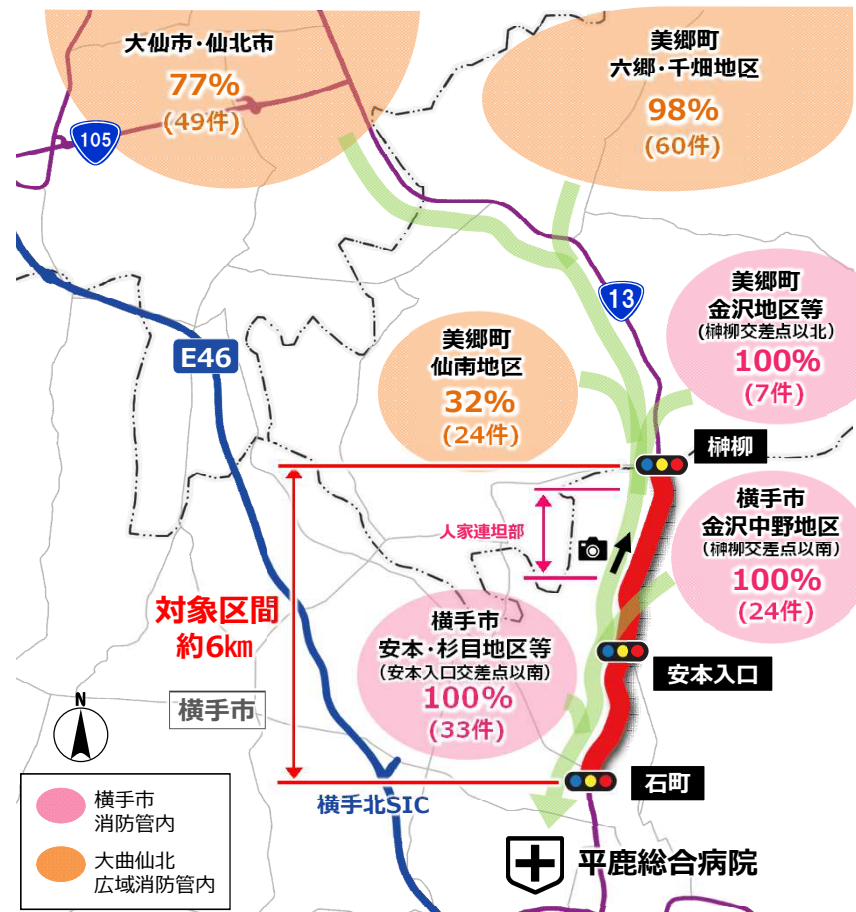
【写真1】冬期の救急搬送状況(📷)



・国道13号は運送業者のトラックの走行台数が多く、救急搬送中、前方にトラックが走行していると、対向車の確認が難しく追越が困難。

資料：大曲仙北広域消防署ヒアリング結果（R1.10）

【図3】対象区間を利用した平鹿総合病院への署別救急搬送割合(件/年)



※パーセンテージは、平鹿総合病院への搬送件数のうち、対象区間を利用した件数の割合  
資料：大曲仙北広域消防署、横手市消防本部ヒアリング結果（R2.6）

	課 題	原 因
交通環境	<p>○走行の快適性・安全性の低下</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量が交通容量を超過し、主要渋滞箇所では渋滞で速度低下が発生</li> <li>・路肩幅員が狭小で冬期は堆雪により更に減少し、走行環境の悪化により冬期速度は通常期に比べ大きく低下</li> <li>・事故多発箇所が複数存在し、交差点部だけでなく単路部である沿道企業の出入り口部や人家連坦部でも事故が発生しており、安全性確保が課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通容量の不足</li> <li>・狭小幅員</li> <li>・冬期の走行環境悪化</li> <li>・沿道の出入り等により発生する急ブレーキ</li> </ul>
産 業	<p>○不安定な物流ルート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬期は渋滞や雪による影響で輸送時の製品に荷崩れが発生し、製品の性能に問題が生じる等、安定した走行性、定時性の確保が課題</li> <li>・冬期は渋滞や雪による影響で市場への延着リスクが生じる等、定時性・速達性の確保が課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通容量の不足</li> <li>・冬期の走行環境悪化</li> </ul>
医 療	<p>○救急搬送における安定性の阻害</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬期は堆雪の影響で幅員が狭くなり、救急車両の追い越しが困難で、安定性・速達性の確保が課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狭小幅員</li> <li>・冬期の走行環境悪化</li> </ul>

政策目標（案）



快適かつ安全な交通環境の確保



円滑な物流ルートの確保



安定した搬送ルートの確保



## 5. 政策目標の案（政策の将来像との整合）

第3期ふるさと秋田元気創造プラン	内容(抜粋)
社会の変革に果敢に挑む産業振興戦略	・県内企業の航空機産業と自動車産業の成長促進とともに、一貫工程化に向けたサプライチェーン形成を促進し、地域の競争力を強化。 【円滑な物流ルート確保】
秋田の魅力が際立つ人・もの交流拡大戦略	・高速道路やこれを補完する地域高規格道路、交流・物流拠点へのアクセス道路、地域間交流と県民の生活を支える道路の整備。 【円滑な物流ルート確保】
県土の保全と防災力強化	・災害時における救援物資の輸送や救急医療施設へのアクセスに加え、代替路線機能の確保や海上からの緊急支援物資の輸送など、大規模災害にも対応できる交通基盤体制を構築。 【安定した搬送ルートの確保】
安全・安心な生活環境の確保	・冬期における円滑な道路交通を確保するため、適切な道路除排雪を実施するなど、安全で利便性の高い道路環境づくりを推進。 【快適かつ安全な交通環境の確保】
第2次横手市総合計画	内容(抜粋)
みんなで元気でいきいきと暮らせるまちづくり	・基幹病院と地域の医療機関との連携を推進し、質の高い医療や救急医療体制の充実を図る。 【安定した搬送ルートの確保】
地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり	・秋田県や地元企業と連携しながら新規企業を誘致するとともに既存立地企業の事業拡大。 【円滑な物流ルート確保】
安全で快適な住みよいまちづくり	・広域的な交通ネットワークの構築と安全な交通環境を確保。 ・安全な雪口生活を送るために、雪を前提としたインフラ整備。 【快適かつ安全な交通環境の確保】
第2次美郷町総合計画	内容(抜粋)
生活がうるおうー快適さを実感できるまち	・冬期間や災害発生時に緊急車両の通行が困難な路線を改良し、安心な環境を整備。 【快適かつ安全な交通環境の確保】
活力がうまれる-活力と働くよろこびが満ちるまち	・企業に対して本町の魅力や企業支援制度等をPRし、本社機能の移転を含む新規の企業誘致を推進。 【円滑な物流ルート確保】
第2次大仙市総合計画基本構想	内容(抜粋)
魅力ある産業のまちを創ります～産業振興・雇用など～	・企業誘致のための優遇制度の普及促進を図ると共に企業ネットワーク活用による積極的な活動や、受け皿となるべき団地等の整備・確保。 【円滑な物流ルート確保】
住みよいまちを築きます～安全・安心、都市整備など～	・国や県で行っている広域的な道路網としての事業化。 【快適かつ安全な交通環境の確保】

# 5. 政策目標の案（整備方針の検討）

◆ 現道の課題を解消するための整備方針を検討

## ◇ 現道の課題を早期に解消する政策目標を設定

道路交通や地域の状況と課題  
地域の将来像

1. 快適かつ安全な交通環境の確保
2. 円滑な物流ルート of 確保
3. 安定した搬送ルートの確保

## ◇ 対策案の検討方針

### 【交通環境関連】

- ・ 交通混雑を解消し、円滑な交通処理を行うために必要な道路とは
- ・ 安全性を確保し、交通事故が減少する道路とは

### 【物流関連】

- ・ 安定した物流ルートを確保し、業務の効率化を支援する道路とは

### 【医療関連】

- ・ 高次医療施設へ安定した搬送が確保できる道路とは

当該地域に求められるサービスレベルとは

- ① 走行性・安全性を確保するとともに、幹線道路機能を有すること
- ② 冬期間でも円滑な交通を確保すること

道路交通の状況と課題を解決し、地域の将来像を実現する複数案を設定し比較検討

◆ 以下のとおり、地域から意見聴取を実施。

## 1. 意見聴取の内容

意見聴取の項目	把握する意見	回答方法
①国道13号の利用状況について	主な利用目的	選択式(単一回答)
	主な移動手段	選択式(単一回答)
	利用頻度	選択式(単一回答)
②地域の課題について	提示した複数の課題について、それぞれどの程度問題だと思うか	選択式(単一回答)
	提示した問題の他に、困っていることや問題はないか	自由回答
③道路整備の必要性について	道路整備の必要性が、あると思うか思わないか	選択式(単一回答)
④その他	その他の意見・要望	自由回答

# 6. 意見聴取方法（案）

## 2. 意見聴取の対象（案）

### ■アンケートによる意見聴取の対象（案）

項目		調査手法・規模
地域住民	横手市横手地域(旧横手市)、美郷町、大仙市大曲地域(旧大曲市)	意見聴取範囲の全戸を対象とした郵送配布(約3.7万世帯)
事業者等	沿線事業所	横手市横手地域(旧横手市)、美郷町、大仙市大曲地域(旧大曲市)の製造業者沿線の物流業者 郵送配布(約200事業所)
道路利用者	沿線の道路利用者	WEB留置(市役所、役場、道の駅)

### ■ヒアリング調査による意見聴取の対象（案）

調査対象団体（25社・団体）			
関係団体	○自治体【2市1町】	○経済団体【3団体】	○自動車関連企業【3社】
	○県【1県】	○トラック協会【1団体】	○農業協同組合【2団体】
	○観光協会【3団体】	○福祉施設【2団体】	○医療施設【1団体】
	○バス協会【1団体】	○消防機関【2団体】	
	○警察機関【1団体】	○学校【2団体】	

## 3. 地域への意向調査の周知方法

情報提供の項目
秋田県及び横手市、美郷町、大仙市HPに意向調査(WEB)のバナーを設置
自治体の広報紙への掲載や湯沢河川国道事務所HP等で幅広く広報を実施

## 4. 意見聴取期間    5. 実施主体

◇1ヶ月程度                      ◇国土交通省   東北地方整備局   湯沢河川国道事務所

### ■配布範囲



## 6. 調査の設問案

### ■意見聴取方法及び質問内容

- 1) 調査概要  
計画の概要、対象区間を提示
- 2) 国道13号と地域の現状と課題を提示

(案)

**みなさまのご意見をお聞かせください!**

**国道13号 (横手市石町～美郷町榊柳間)**

**道路計画に関するアンケート** 全4問

今日のアンケートと道路計画の進捗

地域や道路交通の現状と課題の整理

今回 **アンケート**

道路計画の進捗確認

アンケート

対応方針の決定

**対象区間**  
国道13号 (横手市石町～美郷町榊柳間)

県南・中央地域を結ぶ国道13号 (横手市石町～美郷町榊柳間) の道路計画を検討するにあたり、地域の皆様のご意見をお聞かせください。

▶ 詳しくは「東北地方整備局 湯沢河川国道事務所」のHPへアクセスください。 [湯沢河川国道事務所](#)

▶ インターネットによる回答を行う場合は下記の QRコード か、  
「国道13号 横手地区」で検索し右側のページからアクセスください。 [意見募集](#)

**お問い合わせ** 国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所 調査第二課

**TEL 0183-73-5559 FAX 0183-72-2488**

(平日 9:00～17:00)

(案)

## 国道13号 (横手市石町～美郷町榊柳間) の課題を①～④のとおり考えました。

### 1 渋滞が発生している

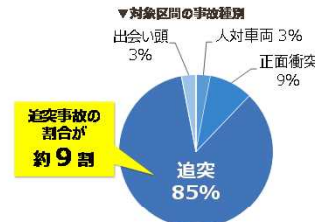
●トラックや通勤・通学する自動車で渋滞し、冬期は幹線道路である国道13号にさらに交通が集中し、更に渋滞しています。



出典:「プロファイル/サポート位置情報データ」株式会社プログウィッチャー社  
通車期: H30年4月の平日7～8時台、冬期: H30年2月の平日7～8時台  
※その他の道路…大曲横手線、金沢吉田榊柳線、みずほの里ロード

### 2 交通事故が多い

●対象区間では交差点部で追突事故が多く発生しており、全体の約9割を占めています。



### 3 トラック輸送に問題が発生している

●対象区間周辺は自動車関連企業が増加傾向です。

●冬期は渋滞や雪による影響で輸送部品に荷崩れが生じ、部品の性能に影響がある等、問題が発生しています。



### 4 道幅が狭く、救急搬送の支障になっている

●対象区間を利用した横手市への救急搬送件数は年々増加傾向です。

●冬期は積雪で道路の幅が狭く、車両のすり抜けが困難となり、救急搬送の支障になっています。



## 6. 調査の設問案

- 3) 質問事項（地域住民用）  
 ①道路利用状況について    ②課題について    ③道路整備の必要性について

### （案）

**質問① 国道13号（石町～榊柳間）の道路利用についてお聞きします。**

<b>A. 主な利用目的</b>	1. 仕事（営業・運送等） 3. 家事（買物など） 5. レジャー・ドライブなど 6. その他（括弧内に記入ください）	2. 通勤・通学 4. 通院
<b>B. 主な移動手段</b>	1. 自動車 3. バイク	2. 公共交通（バス・タクシー） 4. 自転車 5. 徒歩
<b>C. 利用頻度</b>	1. 週に5回以上 3. 週に1～2回 5. 年に数回	2. 週に3～4回 4. 月に1～2回 6. 利用したことがない

**質問② 課題についてお聞きします。**  
 以下の各項目について、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価し、あてはまる番号1つに○をつけてください。

**②-1 課題について**

・渋滞が発生している。	1	2	3	4	5
・交通事故が多い。	1	2	3	4	5
・トラック輸送に問題が発生している。	1	2	3	4	5
・道幅が狭く、救急搬送の支障になっている。	1	2	3	4	5

**②-2 提示した課題以外の困っていることや問題について**

上記を選んだ主な理由や、地域で困っていること、改善してほしいことなどがあれば、ご自由にお書きください。


**質問③ 地域の課題を解決するために、新たな道路整備が必要だと思いますか？**

回答欄の1～5のうち1つに○をつけてください。

**質問④ その他、国道13号（石町～榊柳間）について、ご意見ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。**

回答欄にご自由にお書きください。

### （ハガキ/表面）



郵便はがき

秋田県湯沢市関口字上寺64-2

国土交通省 東北地方整備局  
 湯沢河川国道事務所 調査第二課  
 アンケート事務局 行

〒0120862

ご協力をお願いいたします。

あなたについてお聞かせください	
年齢	<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上
職業	会社員・公務員・自営業 学生・主婦・無職 その他（                      ）
住所	郵便番号 [                      ] [                      ] 都・道・府・県 [                      ] 市・町・村 地区名 [                      ]
運転免許	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

※個人情報と同意なく第三者に開示・提供することはありません。  
 （法令により開示を求められた場合を除きます。）

⇒裏面に続きます

### （ハガキ/裏面）

こちらは裏面（表面からの続き）です。

**質問① 国道13号（石町～榊柳間）の道路利用についてお聞きします。**

<b>A. 主な利用目的</b>	1	2	3	4	5	(                      6                      )
<b>B. 主な移動手段</b>	1	2	3	4	5	
<b>C. 利用頻度</b>	1	2	3	4	5	6

**質問②-1 課題についてお聞きします。**

項目	そう思う	やや そう思う	どちら とも言え ない	あまり 思わない	全く 思わない
・渋滞が発生している。	1	2	3	4	5
・交通事故が多い。	1	2	3	4	5
・トラック輸送に問題が発生している。	1	2	3	4	5
・道幅が狭く、救急搬送の支障になっている。	1	2	3	4	5

**質問②-2 上記を選んだ主な理由や、地域で困っていること、改善してほしいことなどがあれば、ご自由にお書きください。**

**質問③ 地域の課題を解決するために、新たな道路整備が必要だと思いますか？**

項目	そう思う	やや そう思う	どちら とも言え ない	あまり 思わない	全く 思わない
新たな道路整備が必要	1	2	3	4	5

**質問④ その他、国道13号（石町～榊柳間）について、ご意見ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。**

ご協力ありがとうございました

## 6. 調査の設問案

- 4) 質問事項（事業者用）
  - ①道路利用状況について
  - ②課題について
  - ③道路整備の必要性について

### （案）

### （ハガキ/表面）

### （ハガキ/裏面）

質問① 国道13号（石町～榊柳間）の道路利用についてお聞きします。

<b>A. 主な利用目的</b>	1. 運送・運搬	2. 営業	3. 従業員の通勤	4. 送迎	5. その他（括弧内にご記入ください）	
<b>B. 主な移動手段</b>	1. 自動車	2. 公共交通（バス・タクシー）	3. バイク	4. 自転車	5. 徒歩	
<b>C. 利用頻度</b>	1. 週に5回以上	2. 週に3～4回	3. 週に1～2回	4. 月に1～2回	5. 年に数回	6. 利用したことがない

質問② 課題についてお聞きします。  
以下の各項目について、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価し、あてはまる番号1つに○をつけてください。

<b>②-1 課題について</b>
・渋滞が発生している。
・交通事故が多い。
・トラック輸送に問題が発生している。
・道幅が狭く、救急搬送の支障になっている。
<b>②-2 提示した課題以外の困っていることや問題について</b>
上記を選んだ主な理由や、地域で困っていること、改善してほしいことなどがあれば、ご自由にお書きください。

質問③ 地域の課題を解決するために、新たな道路整備が必要だと思いますか？

回答欄の1～5のうち1つに○をつけてください。

質問④ その他、国道13号（石町～榊柳間）について、ご意見ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

回答欄にご自由にお書きください。

郵便はがき

料金受取人私郵便

湯沢局承認

0120862

秋田県湯沢市関口字上寺64-2

国土交通省 東北地方整備局  
湯沢河川国道事務所 調査第二課  
アンケート事務局 行

差出有効期間  
令和2年○月  
○日まで

|||||.....

ご協力をお願いいたします。

貴事業所についてお聞かせください。	
貴社名	
職業	<input type="checkbox"/> 製造業 <input type="checkbox"/> 運輸業 <input type="checkbox"/> その他 [ ]
電話番号	
住所	郵便番号 [ ] [ ] 都・道・府・県 [ ] 市・町・村 地区名 [ ]
ご担当者様	所属 [ ] 氏名 [ ]

※個人情報と同意なく第三者に開示・提供することはありません。  
(法令により開示を求められた場合を除きます。)

⇒裏面に続きます

こちらは裏面（表面からの続き）です。

質問① 国道13号（石町～榊柳間）の道路利用についてお聞きします。

<b>A. 主な利用目的</b>	1	2	3	4	( ) 5	( )
<b>B. 主な移動手段</b>	1	2	3	4	5	
<b>C. 利用頻度</b>	1	2	3	4	5	6

質問②-1 課題についてお聞きします。

項目	そう思う	やや そう思う	どちら とも言え ない	あまり 思わない	全く 思わない
・渋滞が発生している。	1	2	3	4	5
・交通事故が多い。	1	2	3	4	5
・トラック輸送に問題が発生している。	1	2	3	4	5
・道幅が狭く、救急搬送の支障になっている。	1	2	3	4	5

質問②-2 上記を選んだ主な理由や、地域で困っていること、改善してほしいことなどがあれば、ご自由にお書きください。

質問③ 地域の課題を解決するために、新たな道路整備が必要だと思いますか？

項目	そう思う	やや そう思う	どちら とも言え ない	あまり 思わない	全く 思わない
新たな道路整備が必要	1	2	3	4	5

質問④ その他、国道13号（石町～榊柳間）について、ご意見ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

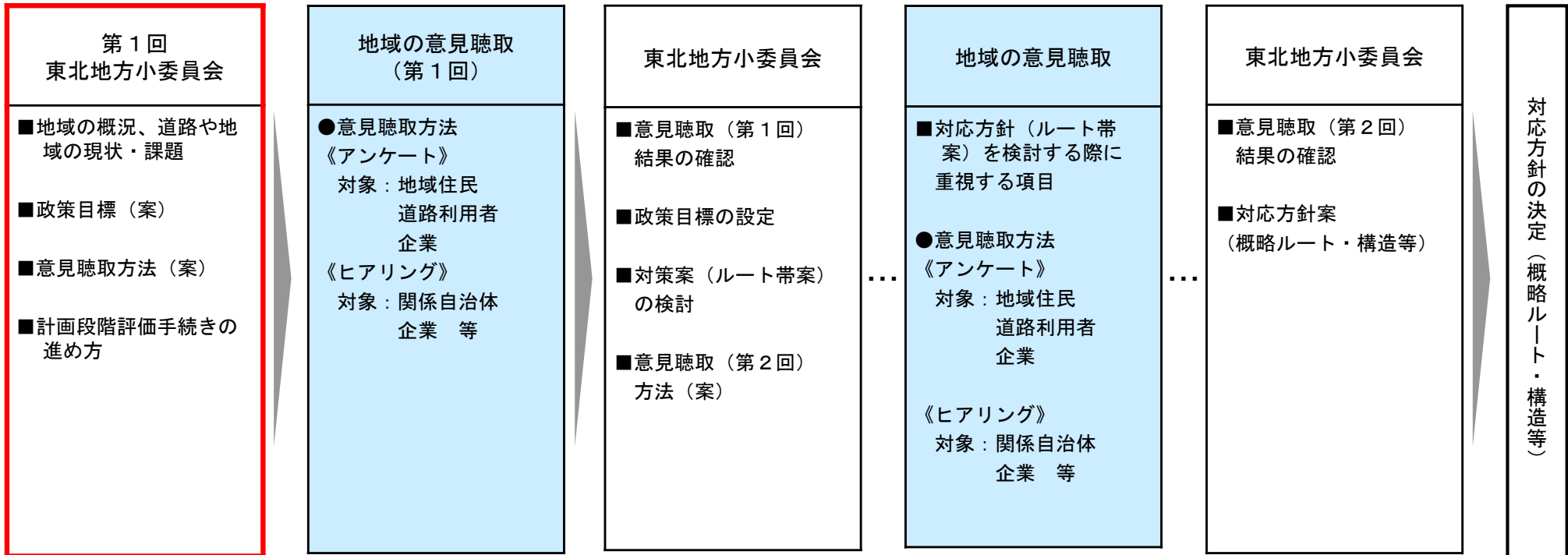
ご協力ありがとうございました

# 7. 今後の計画段階評価のすすめ方（案）

◆ 計画段階評価手続きの進め方は以下のとおり。

(今回)

【令和2年10月23日】



地 方 小 委 員 会